股票代碼:9955

住龍科技工程股份有限公司及子公司 合併財務報告暨會計師核閱報告 民國一○五年一月一日至六月三十日 及民國一○四年一月一日至六月三十日

公司地址:桃園市觀音區榮工南路12號

公司電話:(03)438-9099

合併財務報告

目 錄

項目	頁 次
一、封面	1
二、目錄	2
三、會計師核閱報告	3
四、合併資產負債表	4-5
五、合併綜合損益表	6
六、合併權益變動表	7
七、合併現金流量表	8
八、合併財務報表附註	
(一)公司沿革	9
(二)通過財務報告之日期及程序	9
(三)新發布及修訂準則及解釋之適用	9-16
(四)重大會計政策之彙總說明	16-18
(五)重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	18
(六)重要會計項目之說明	18-34
(七)關係人交易	34
(八)質押之資產	35
(九)重大或有負債及未認列之合約承諾	35
(十)重大之災害損失	35
(十一)重大之期後事項	35
(十二)其他	36-40
(十三)附註揭露事項	
1.重大交易事項相關資訊	41
2.轉投資事業相關資訊	41-42
3.大陸投資資訊	43
(十四)部門資訊	44



安永聯合會計師事務所

33045桃園市桃園區中正路1088號27樓 27F, No. 1088, Zhongzheng Road, Taoyuan District, Taoyuan City, Taiwan, R.O.C.

會計師核閱報告

住龍科技工程股份有限公司 公鑒

十月併 日孫 10 国至 N 年一日ナ 日月之 回 至 四三 氏國一○r ○四年四) 財務 田 Ш 月街 KH 上開合 Ш 四年 图 田 日及民國一(師核閱竣事問結果出具執 田田 回 師核 衙 田 六月三十 經本會計 為根據核問 民 良 KH Ш Ш 至業則 同用三 十 年 公 四 表。 里 田 及五 月量 H 金流 lip' Ш 公 并 合併現金 限國 五 田 有民 工程股份 表本首任 表 凡國 中 貴 题 動之 食民 表益階 資度産園 佳龍科技

規劃並 杏核 財務報表之核閱」一般公認審計準則 十六號 声 並未依照 _ 11 除下段所述者外,本會計師係依照審計準則公報第. 執行核閱工作。由於本會計師僅實施分析、比較與查詢 故無法對上開合併財務報表整體表示查核意見。

C,分別佔合併綜合(損)益 國一○四年一月一口。 負債總 四年六 十日之綜合(損)益總額分別為新台幣3,212仟元及新台幣(12,385)仟元,分別佔合併綜合(損)益總額之17.32%及31.51%,民國一○五年一月一日至六月三十日及民國一○四年一月一日至六月三十日之綜合(損)益總額分別為新台幣(2,299)仟元及新台幣(19,665)仟元,分別佔合併綜合(損)益總額之(29.48)%及58.78%。又如合併財務報表附註六.6所述,住龍科技工程股份有限公司及子公司民國一○五年六月三十日及民國一○四年六月三十日採用權益法之投資分別為新台幣6,304仟元及新台幣3,375仟元,民國一○四年六月三十日採開權益法之投資分別為新台幣6,304仟元及新台幣3,375仟元,民國一○五年四月一日至六月三十日相關之採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額分別為新台幣(726)仟元,民國一○五年一月一日至六月三十日及民國一○四年五月四日(該被投資公司設立日)至六月三十日相關之採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額分別為新台幣1,986仟元及新台幣(125)仟元,係以該等被投資公司未經會計師核閱之財務報表為依據。另合併財務報表附註十三所揭露前述子公司及採權益法之被投 資產總額之 合併 部分 之子公司中, 三十日及民國-合併 .53%及13.43%,負債總額分別為新台幣3,491仟元及新台幣10,520仟元,分別佔之0.24%及0.73%,民國一○五年四月一日至六月三十日及民國一○四年四月一 如合併財務報表附註四.3所述,列入第一段所述合併財務報表之子公司同期間財務報表未經會計師核閱,該等子公司民國一○五年六月三十日及,三十日之資產總額分別為新台幣464,239仟元及新台幣205,525仟元,分別佔 會計師核閱 額之0.24%及0.73%,民國一 台列民業計資

述合併會認可 及相 公司及採權益法之被投資公司之財務報表有所調整之影響外,並未發現第一段所述務報告編製準則、經金融監督管理委員會 而須作修正之情事。 表 結果,除上段所述該等子公司及採閱,對合併財務報表可能有所調整方面有違反證券發行人財務報告編十四號「期中財務報導」而須作修 師核閱結果 計師核閱 第一人 第一一 有則 依本會計即訊倘經會計 表在所 會計準 教 資務 福 一

安永聯合會計師事務所主管機關核准辦理公開發行公司財務報告主管機關核准辦理公開發行公司財務報告查核簽證文號:(94)金管證(六)第 0940128837 號(97)台財證(六)第 37690 號(高麗

世祖海 五 五 名

雪叶節:

郭紹彬 8

年八月九日

中華民國一〇五年八月九日

佳龍科技工程股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國一〇五年六月三十日、一〇四年十二月三十一日及一〇四年六月三十日 (民國一〇五及一〇四年六月三十日僅經核開: 未依一般公認審計準則查核) (金額均以新台幣仟元為單位)

500 m	資 着		一〇五年六月	三十日	一〇四年十二月三	三十一日	一〇四年六月	三十日
代碼		附 註	金 額	%	金 額	%	金 額	%
	流動資產							
100	10 m 10 m	四及六.1	\$299,401	8	\$223,247	6	\$328,258	
147	無活絡市場之債務工具投資	四、六.2及八	767	-	790	-	6,167	
150	應收票據淨額	四及六.3	-		417	-	-	
170	應收帳款淨額	四及六.4	62,112	2	39,131	1	40,756	
200	其他應收款		11,776	-	8,833	-	9,586	
310	存貨淨額	四及六.5	1,163,050	32	1,103,008	31	1,225,076	3
410	預付款項		6,542	-	22,980	1	11,260	
470	其他流動資產		2,632	-	3,783	-	2,565	
1xx	流動資產合計		1,546,280	42	1,402,189	39	1,623,668	4
								1000
	非流動資產			19				
550	採權益法之長期投資	四及六.6	6,304	-	4,318	_	3,375	
600	不動產、廠房及設備	四、六.7、八及九	2,053,512	55	2,030,288	57	2,017,909	5
780	無形資產	四及六.8	7	-	12	_	16	5
840	遞延所得稅資產	四及六.23	12,277	_	12,277	1	12,212	
900	其他非流動資產	六.9	87,771	3	108,402	3	106,199	
5xx	非流動資產合計		2,159,871	58	2,155,297	61	2,139,711	5
XXX	資產總計		\$3,706,151	100	\$3,557,486	100	\$3,763,379	10

(請參閱合併財務報表附註)

董事長: 吳界欣



經理人: 吳界欣



會計主管:張國樑



住龍科技工程股份有限公司及子公司 合併資產負債表(績) 民國一○五年六月三十日、一〇四年十二月三十一日及一○四年六月三十日 (民國一○五及一○四年六月三十日僅經核閱!未依一般公認審計準則查核)

(金額均以新台幣仟元為單位)

备 借 及 遊 兴			<u></u>				
	#11 AX					一〇四年六月	三十日
- A - A	門 註	金額	%	金額	%	金 額	%
	> 10			500000000000000000000000000000000000000			
- 741 H 475	六.10		15	\$350,000	10	\$410,000	11
13 14 11 24		3.0	-	3,175	-	22,031	1
AG 14 TRAFE			1	66,590	2	50,255	1
7.10%			1	25,584	1	32,046	1
1 277 1 17 DO X 1X	Dr. and Co. Elizabeth Annual Education	LITTERES 1	-	631	-	631	-
X I S I X IX			-	3,669	-	5,686	_
1 3 日本 2 771 1 2 1771 民 771 日 秋	四及六.15		2	73,615	2	vector (Contact)	2
流勁貝熕合計		702,216	19	523,264	15	594,264	16
北流動名傳							
PC741 IN 119C	Particular of the section of the sec		20	791,366	22	828,173	22
C. C. III POX IX		11	-	9,931	-	9,622	-
7 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	四、六.13及六.14		1	16,381	1	18,922	1
非		779,592	21	817,678	23	856,717	23
自 信 總計		1 401 000					
X X X X X		1,481,808	40	1,340,942	38	1,450,981	39
歸屬於母公司業キラ權為							
	<u>ا ا ا ا</u>	1 022 002	20		55-376		
						870.000.0000	27
		1,109,441	30	1,109,441	31	1,109,441	30
	7.17	160 216					4
		0.0000000000000000000000000000000000000	4		4		4
			1		1	Black and the second of the se	1
		The second secon				The state of the s	(1)
TO A STATE OF THE			2		2	161,344	4
	上 17		-	- 77	-	9,278	-
	/\.\/		-			253	-
the man thing A I		2,224,343	60	2,216,544	62	2,312,398	61
負債及權益總計		\$3 706 151	100	62 557 406	***		P0144000*
victiva to tarace to the tarace to ta	I	Φ3,700,131	100	33.337.486	100	\$3,763,379	100
	保留盈餘 保留盈餘公積 特別盈餘公積 未分配盈餘合計 其他權益 非控制權益 非控制權益	會計項目 附註 流動負債 短期借款 應付標款 其他應付款 其他應付款 其他應付款 本期所得稅負債 其中或分之。23 四及六.12 四及六.12 四及六.15 非流動負債 長期件科 。	負債及權益 一〇五年六月 會計項目 附註 金額 流動負債 短期借款 六.10 \$550,000 應付票據 53,590 2,693 53,590 其他應付款 53,590 17,542 4,145 工學人元.23 631 四及六.12 4,145 工學人內之,16 10人,15 73,615 702,216 非流動負債 四及六.15 754,558 8,564 其他非流動負債 四及六.23 8,564 16,470 779,592 負債總計 1,481,808 1,481,808 1,481,808 歸屬於母公司業主之權益股本 六.17 1,032,082 1,109,441 六.17 160,216 20,301 (102,069) 78,448 4,117 255 2,224,343 4,117 255 2,224,343 2,224,343 1,117 255 2,224,343 1,117 2,255 2,224,343 1,117 1,117 2,110 <td< td=""><td>負債及權益 一〇五年六月三十日 合計項目 附註 金額 96 流動負債 六.10 \$550,000 15 應付票據 2,693 - 應付帳款 53,590 1 其他應付款 六.11 17,542 1 本期所得稅負債 四及六.23 631 - 工作流動負債 四及六.15 73,615 2 運送所得稅負債 四及六.15 73,615 2 地通新負債 四及六.15 754,558 20 要人力 (19 2 2 2 非流動負債 六.15及八 754,558 20 取分,216 19 2 2 非流動負債 四及六.23 8,564 - 中心非流動負債 四及六.23 8,564 - 中心非流動負債 四及六.23 1,032,082 2 基础所得的量 六.17 1,032,082 2 基础所得的量 六.17 1,109,441 30 大二月 1,109,441 30 基础股本公債 1 1</td><td> 食 情 及 權 益</td><td> 負債及權益</td><td> 食 情 及 權 益</td></td<>	負債及權益 一〇五年六月三十日 合計項目 附註 金額 96 流動負債 六.10 \$550,000 15 應付票據 2,693 - 應付帳款 53,590 1 其他應付款 六.11 17,542 1 本期所得稅負債 四及六.23 631 - 工作流動負債 四及六.15 73,615 2 運送所得稅負債 四及六.15 73,615 2 地通新負債 四及六.15 754,558 20 要人力 (19 2 2 2 非流動負債 六.15及八 754,558 20 取分,216 19 2 2 非流動負債 四及六.23 8,564 - 中心非流動負債 四及六.23 8,564 - 中心非流動負債 四及六.23 1,032,082 2 基础所得的量 六.17 1,032,082 2 基础所得的量 六.17 1,109,441 30 大二月 1,109,441 30 基础股本公債 1 1	食 情 及 權 益	負債及權益	食 情 及 權 益

(請參閱合併財務報表附註)

董事長: 吳界欣



經理人: 吳界欣 5





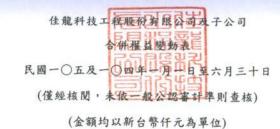
住龍科技工程股份有限公司吸予公司 分解綜合損益表

民國一〇五及一〇四年四月一日至六月三十日 與民國一〇五及一〇四年一月一日至六月三十日 (僅經核閱,未依一般公認審計準則查核) (金額除每股盈餘外,均以新台幣仟元為單位)

			1	- עונווו	1)					
			一〇五年四	(2) (a) (a) (b) (b) (b) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	一〇四年四	月一日	一〇五年一	月一日	一〇四年一	月一日
代碼		- Destroyers	至六月三		至六月三-	十日	至六月三-	十日	至六月三-	十日
1000	項 目 營業收入	附註	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%
000		四及六.18	\$727,058	100	\$609,914	100	\$1,317,636	100	\$1,369,326	100
900	營業成本 ※ 数		(674,486)	(93)	(613,090)	(101)	(1,247,013)	(95)	(1,328,343)	(97)
000	營業毛利(損失)		52,572	7	(3,176)	(1)	70,623	5	40,983	3
100	營業費用				000000000000000000000000000000000000000					
200	推銷費用管理費用		(2,461)	5.	(3,401)	-	(4,830)	-	(6,552)	-
300	· 音互質用 · 研發費用		(25,025)	(3)	(25,235)	(4)	(48,721)	(4)	(50,046)	(4)
300	· 一		(412)	-	(892)		(969)		(1,913)	-
900	营業利益(損失)		(27,898)	(3)	(29,528)	(4)	(54,520)	(4)	(58,511)	(4)
900	8条利益(損失)		24,674	4	(32,704)	(5)	16,103	1	(17,528)	(1)
000	營業外收入及支出	六.21								
010	其他收入	7,121	760		575		1,252	(5780)	1 240	gassi
020	其他利益及損失		1,510		(8,910)	(2)	(1,426)		1,240	(1)
050	財務成本	六.15	(1,576)		(1,221)	- (2)	(3,082)	-	(12,265) (2,250)	(1)
060	採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額	四及六.6	(726)		(125)		1,986		(125)	
	營業外收入及支出合計		(32)		(9,681)	(2)	(1,270)		(13,400)	(1)
					(2,001)		(1,270)		(13,400)	(1)
900	稅前淨利(損)		24,642	4	(42,385)	(7)	14,833	1	(30,928)	(2)
950	所得稅利益(費用)	四及六.23	(359)	-	6,650	1	(359)	-	3,879	(2)
200	本期淨利(損)		24,283	4	(35,735)	(6)	14,474	1	(27,049)	(2)
300	其他綜合損益	六.22							(27,017)	(2)
360	後續可能重分類至損益之項目									
361	國外營運機構財務報表換算之兌換差額		(6,912)	(1)	(4,293)	(1)	(8,042)	(1)	(7,721)	(1)
399	與可能重分類至損益之項目相關之所得稅		1,175	-	730	-	1,367	-	1,313	(-)
	本期其他綜合損益(稅後淨額)		(5,737)	(1)	(3,563)	(1)	(6,675)	(1)	(6,408)	(1)
500	本期綜合損益總額	1 1	\$18,546	3	\$(39,298)	(7)	\$7,799		\$(33,457)	(3)
600	净利(損)歸屬於:	1 1		1,500						
610	母公司業主		\$24,283	4	0(25 725)	(6)	614.474			1020
620	非控制權益	1 1	\$24,263		\$(35,735)	(6)	\$14,474	1	\$(27,050)	(2)
	71 3.1. 72 196. 300.		\$24,283	- 4	\$(35,735)	(6)	\$14,474	-1	\$(27,049)	- (2)
700	综合損益總額歸屬於:	1 1							<u> </u>	(2)
710	母公司業主		\$18,546	3	\$(39,298)	(7)	\$7,799	1	\$(33,458)	(3)
720	非控制權益	1 1	-	-	-	- '	\$1,177	_	3(33,436)	(3)
		1 1	\$18,546	3	\$(39,298)	(7)	\$7,799	1	\$(33,457)	(3)
750	基本每股盈餘(虧損)(元)	- 24	00.24		6:0.0					
		六.24	\$0.24		\$(0.35)		\$0.14		\$(0.26)	
850	稀釋每股盈餘(虧損)(元)	六.24	\$0.24		\$(0.35)		\$0.14		\$(0.26)	

(請參閱合併財務報表附註)





				歸屬	於母公司業主之	權益				
					保留盈餘		其他權益項目			#1
	項目	股本	資本公積	法定盈餘 公積	特別盈餘 公積	未分配盈餘	國外營運機構 財務報表換算 之兌換差額	總計	非控制權益	權益總計
代碼		3100	3200	3310	3320	3350	3410	31XX	36XX	3XXX
A1	民國一○四年一月一日餘額	\$1,032,082	\$1,109,441	\$159,341	\$20,301	\$8,752	\$15,686	\$2,345,603	\$252	\$2,345,855
B1	一○三年度盈餘指撥及分配提列法定盈餘公積			875	100	(975)				
D1	一〇四年上半年度淨損			8/3		(875) (27,050)	41	(27,050)	* 1	(27,049)
D3	一〇四年上半年度其他綜合損益						(6,408)	(6,408)		(6,408)
Z1	民國一○四年六月三十日餘額	\$1,032,082	\$1,109,441	\$160,216	\$20,301	\$(19,173)	\$9,278	\$2,312,145	\$253	\$2,312,398
A1	民國一○五年一月一日餘額	\$1,032,082	\$1,109,441	\$160,216	\$20,301	\$(116,543)	\$10,792	\$2,216,289	\$255	\$2,216,544
D1	一〇五年上半年度淨利					14,474		14,474		14,474
D3	一〇五年上半年度其他綜合損益						(6,675)	(6,675)		(6,675)
Z1	民國一〇五年六月三十日餘額	\$1,032,082	\$1,109,441	\$160,216	\$20,301	\$(102,069)	\$4,117	\$2,224,088	\$255	\$2,224,343

(請參閱合併財務報表附註)

董事長:吳界欣



經理人: 吳界欣









		一○五年 上半年度	一○四年 上半年度			一○五年 上半年度	一○四年 上半年度
代碼	項目	金 額	金 額	代碼	項目	金 額	金 額
AAAA	營業活動之現金流量:	50-000 State		BBBB	投資活動之現金流量:		
A10000	本期稅前淨利(損)	\$14,833	\$(30,928)	B00600	無活絡市場之債券工具投資(增加)減少	23	(3,366)
A20000	調整項目:			B01800	取得採用權益法之投資	-	(3,500)
A20010	不影響現金流量之收益費損項目:			B02700	購置不動產、廠房及設備	(38,950)	(157,613)
A20100	折舊費用	14,549	16,177	B02800	出售不動產、廠房及設備	160	84
A20200	維銷費用	5	4	B03800	存出保證金(增加)減少	16,482	1,486
A20900	利息費用	3,082	2,250	BBBB	投資活動之淨現金流入(出)	(22,285)	(162,909)
A21200	利息收入	(760)	(1,016)				
A22300	採用權益法認列之關聯企業及合資損失(利益)之份額	(1,986)	125	CCCC	籌資活動之現金流量:		
A22500	處分不動產、廠房及設備利益(損失)	(160)	1	C00100	舉借(償還)短期借款	200,000	110,000
A30000	與營業活動相關之資產/負債變動數:	07000		C01600	舉借長期借款	(36,808)	(36,808)
A31130	應收票據淨額(增加)減少	417	1,313	C03000	存入保證金增加(減少)	(50)	(51)
A31150	應收帳款(增加)減少	(22,981)	6,893	CCCC	籌資活動之淨現金流入(出)	163,142	73,141
A31180	其他應收款(增加)減少	(2,938)	118		**************************************		
A31200	存貨淨額(增加)減少	(60,042)	36,476	DDDD	匯率變動影響數	(5,045)	(4,754)
A31230	預付款項(增加)減少	16,447	(4,190)				
A31240	其他流動資產(增加)減少	1,151	3,235	EEEE	本期現金及約當現金增加(減少)數	76,154	(49,067)
A31990	長期預付租金(增加)減少	176	401	E00100	期初現金及約當現金餘額	223,247	377,325
A32130	應付票據增加(減少)	(482)	6,685	E00200	期末現金及約當現金餘額	\$299,401	\$328,258
A32150	應付帳款增加(減少)	(13,000)	18,882				
A32180	其他應付款增加(減少)	(5,889)	(6,556)				
A32230	其他流動負債增加(減少)	476	3,665				
A32240	淨確定福利負債增加(減少)	139	259				
A33000	營運產生之現金流入(出)	(56,963)	53,794				
A33100	收取之利息	760	1,016				
A33300	支付之利息	(3,082)	(2,250)				
A33500	支付之所得稅	(373)	(7,105)				
AAAA	營業活動之淨現金流入(出)	(59,658)	45,455				

(請參閱合併財務報表附註)

董事長:吳界欣



經理人: 吳界欣



住龍科技工程股份有限公司及子公司 合併財務報表附註 民國一○五年一月一日至六月三十日 及民國一○四年一月一日至六月三十日 (僅經核閱,未依一般公認審計準則查核) (金額除另予註明外,均以新台幣仟元為單位)

一、公司沿革

佳龍科技工程股份有限公司(以下簡稱本公司)於民國八十五年九月二十五日奉准設立登記,原登記公司名稱為「佳龍工程股份有限公司」,嗣於民國八十八年十二月二日變更公司名稱為「佳龍科技工程股份有限公司」。主要經營項目為事業廢棄物(含一般及有害)之清除處理業務及銅、鉛、鋅、鐵、錫、鋁、鍍金、鍍銀、鍍鈀材料及單一貴金屬金、銀、鈀之買賣業務。本公司股票自民國九十二年十二月三十日起於櫃檯買賣中心開始櫃檯買賣,另本公司股票於民國九十七年一月二十一日起在台灣證券交易所上市,其註冊地及主要營運據點位於桃園市觀音區草潔里榮工南路12號。

二、通過財務報告之日期及程序

本公司及子公司(以下簡稱本集團)民國一〇五年及一〇四年一月一日至六月三十日之合併財務報告業經董事會於民國一〇五年八月九日通過發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

- 1.截至財務報告通過發布日為止,本集團未採用下列金融監督管理委員會(以下簡稱金管會)認可但尚未適用之新發布、修訂及修正準則或解釋如下:
 - (1)國際會計準則第36號「資產減損」之修正

此修正係針對2011年5月發布之修正,要求企業僅於報導期間認列或迴轉減損損失時,始應揭露個別資產(包括商譽)或現金產生單位之可回收金額。此外,此修正並要求揭露依據公允價值減出售成本決定已減損資產之可回收金額時,所採用之評價技術、公允價值層級與關鍵假設等資訊。此修正自2014年1月1日以後開始之年度期間生效。

(2)國際財務報導解釋第21號「公課」

該解釋就應在何時針對政府課徵之公課(包括按照國際會計準則第37號「負債準備、或有負債及或有資產」的規定進行核算的公課以及時間和金額均可確定之公課)估列為負債提供相關指引。此解釋自2014年1月1日以後開始之年度期間生效。

(3)衍生工具之合約更替及避險會計之延續

此修正主要係對衍生工具若有合約更替,於符合特定條件之情況下,無須停止適用避險會計。此修正自2014年1月1日以後開始之年度期間生效。

(4)國際會計準則第19號「員工福利」之修正—確定福利計畫:員工提撥

此修正針對員工或第三方提撥至確定福利計畫,其提撥金與員工提供服務之年數無關者(例如依員工薪資固定比例),提供得選擇之簡化會計處理方法。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

(5)2010-2012年國際財務報導準則之改善

國際財務報導準則第2號「股份基礎給付」

修正「既得條件」及「市價條件」之定義及新增「績效條件」及「服務條件」之定義(「績效條件」及「服務條件」之定義於修正前係包含於「既得條件」之定義中)。以上修正適用給與日發生於2014年7月1日後之股份基礎給付交易。

國際財務報導準則第3號「企業合併」

此修正包括(1)刪除企業合併之或有對價分類規定中「其他適用之國際財務報導準則」、(2)刪除「國際會計準則第37號『負債準備、或有負債及或有資產』或其他適當之國際財務報導準則」,規定非金融資產或非金融負債之或有對價應於每一報導日以公允價值衡量,並將公允價值之變動認列於損益,及(3)修正國際財務報導準則第9號「金融工具」之規定以釐清為金融資產或金融負債之或有對價,僅能以公允價值衡量,且依據國際財務報導準則第9號「金融工具」之規定表達於損益。此修正自收購日於2014年7月1日以後之企業合併生效。

國際財務報導準則第8號「營運部門」

要求企業揭露管理階層彙總營運部門之判斷基準,並釐清僅於部門資產定期提供情況下方需揭露應報導部門資產總額調節至企業資產總額。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

國際財務報導準則第13號「公允價值衡量」

此新增結論基礎係釐清因先前國際財務報導準則第13號「公允價值衡量」之連帶修正,而移除國際財務報導準則第9號「金融工具」第B5.4.12段及國際會計準則第39號「金融工具:認列及衡量」第AG79段,並非意圖改變相關衡量規定。

國際會計準則第16號「不動產、廠房及設備」

此修正釐清不動產、廠房及設備項目重估價時,重估價日之累計折舊得以總帳面金額與淨帳面金額兩者間之差額重新計算。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

國際會計準則第24號「關係人揭露」

此修正釐清若一個體提供主要管理人員服務予報導個體或報導個體之母公司,則該個體為報導個體之關係人。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

國際會計準則第38號「無形資產」

此修正釐清無形資產項目重估價時,重估價日之累計攤銷得以總帳面金額與淨帳面金額兩者間之差額重新計算。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

(6)2011-2013 年國際財務報導準則之改善

國際財務報導準則第1號「首次採用國際財務報導準則」

此修正於結論基礎中釐清首次採用者於首份國際財務報導準則財務報表中,得選擇 適用已發布並已生效之準則或亦得選擇提前適用已發布但尚未生效之準則或修正(若該準則或修正允許提前適用)。

國際財務報導準則第3號「企業合併」

此修正係釐清國際財務報導準則第3號「企業合併」第2段(a)所述之範圍例外項目包括國際財務報導準則第11號「聯合協議」所定義聯合協議所有類型之成立且僅適用於聯合協議個體之財務報表。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

國際財務報導準則第13號「公允價值衡量」

此修正述明國際財務報導準則第13號第52段對金融資產及金融負債群組之公允價值以淨額基礎衡量時,其範圍亦包括屬國際會計準則第39號「金融工具:認列及衡量」或國際財務報導準則第9號「金融工具」範圍之其他合約,無論該等合約是否符合國際會計準則第32號「金融工具:表達」之金融資產或金融負債定義。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

國際會計準則第40號「投資性不動產」

此修正澄清特定交易是否符合國際財務報導準則第3號企業合併之定義以及該不動產是否同時符合國際會計準則第40號投資性不動產之定義,需分別依循此兩號準則之規定獨立進行分析。此修正自2014年7月1日以後開始之年度期間生效。

(7)國際財務報導準則第14號「管制遞延帳戶」

對於處於費率管制活動之首次採用國際財務報導準則採用者,允許該等個體依先前之一般公認會計原則繼續認列與費率管制相關之金額,惟為增進與已採用國際財務報導準則編製者之比較性,國際財務報導準則第14號要求應將該等金額單獨列報。 此準則自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

(8)國際財務報導準則第11號「聯合協議」之修正-收購聯合營運權益之會計

此修正針對如何處理收購聯合營運(構成一業務者)之權益提供新指引,要求企業就 其收購持份之範圍適用IFRS 3「企業合併」(及未與IFRS 11相衝突之其他IFRSs)之 所有原則,並依據該等準則揭露相關資訊。此修正自2016年1月1日以後開始之年度 期間生效。

(9)國際會計準則第16號「不動產、廠房及設備」暨國際會計準則第38號「無形資產」 之修正—可接受之折舊及攤銷方法之闡釋

此修正係釐清不動產、廠房及設備之折舊方法,不宜以使用該資產之活動所產生之收入為基礎。因該等收入通常反映與企業消耗該資產經濟效益無關之其他因素,例如銷售活動及銷售數量及價格之改變等。此修正亦釐清無形資產攤銷方法之前提假設,不宜以收入作為衡量無形資產經濟效益消耗型態之基礎(惟於特殊情況下,該前提假設可被反駁)。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

(10)農業: 生產性植物 (國際會計準則第 16 號及國際會計準則第 41 號之修正)

由於生產性植物之產出過程與製造過程類似,國際會計準則理事會決定生產性植物應與國際會計準則第16號所規定不動產、廠房及設備之處理方式一致。因此,此修正將生產性植物納入國際會計準則第16號之範圍,而於生產性植物上成長之作物則維持於國際會計準則第41號之範圍。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

(11)於單獨財務報表之權益法 (國際會計準則第27號之修正)

此計畫係還原2003年修訂國際會計準則第27號時所移除於單獨財務報表採用國際會計準則第28號權益法會計處理之選項,以與特定國家之單獨財務報表會計處理之規定相符。此準則自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

(12)2012-2014 年國際財務報導準則之改善

國際財務報導準則第5號「待出售非流動資產及停業單位」

此修正係規定資產(或待處分群組)自待出售重分類為待分配予業主時,視為原始處分計畫之延續,反之亦然。此外,亦規定停止分類為待分配予業主之處理與停止分類為待出售之處理相同。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

國際財務報導準則第7號「金融工具:揭露」

此修正釐清收費之服務合約可構成繼續參與之目的而須適用國際財務報導準則第7號「金融工具:揭露」中有關整體除列之已移轉金融資產之揭露規定。此外,此修正亦刪除國際財務報導準則第7號對於金融資產與金融負債互抵之揭露要求適用於期中財務報導之相關規定,而回歸國際會計準則第34號「期中財務報導」中簡明財務報表之規定。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

國際會計準則第19號「員工福利」

此修正釐清依據國際會計準則第19號第83段之規定,於評估高品質公司債是否有深度市場以決定退職後福利義務折現之折現率時,係以義務發行使用之幣別作為依據,而非以國家作為依據。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

國際會計準則第 34號「期中財務報導」

此修正釐清何謂「於期中財務報告其他部分」揭露之資訊;此修正明訂期中財務報導規定之揭露須包含於期中財務報表附註中或自期中財務報表交叉索引至此資訊所在處,而該資訊需與期中財務報表同時間及以相同條件提供予使用者。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

(13)揭露倡議(修正國際會計準則第1號「財務報表之表達」)

主要修正包括:(1)重大性,釐清企業不應藉由不重要之資訊或將不同性質或功能之資訊彙總表達而模糊重要資訊,降低財務報表之可了解性。此項修正再次重申國際財務報導準則所要求特定之揭露,應進行該資訊是否重大之評估、(2)分類及小計,釐清綜合損益表及資產負債表之單行項目可再予細分,及企業應如何表達並增加額外之小計資訊、(3)附註之架構,釐清對於財務報表附註呈現之順序,企業係有裁量空間,惟仍強調考量順序時要兼顧可了解性及可比性、(4)會計政策之揭露,刪除重大會計政策中與所得稅及外幣兌換損益相關之例舉,因考量前述例舉並無助益,及(5)源自權益會計處理投資之其他綜合損益項目之表達,釐清採用權益法認列之關聯企業及合資之其他綜合損益之份額依後續能否重分類至損益彙總為財務報表之單行項目表達。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效

0

(14)投資個體:對合併例外之適用(修正國際財務報導準則第10號、國際財務報導準則第12號及國際會計準則第28號)

此修正包括:(1)釐清當投資個體按公允價值衡量其所有子公司時,本身為該投資個體子公司之中間層級母公司係適用國際財務報導準則第10號第4段所規定編製合併財務報表之豁免、(2)釐清子公司唯有於其本身並非投資個體且提供對投資個體母公司之支援服務時,方須依據國際財務報導準則第10號第32段之規定併入投資個體母公司之合併報表,及(3)允許投資者於適用國際會計準則第28號所規定之權益法時,保留屬投資個體之關聯企業或合資對其子公司權益所適用之公允價值衡量。此修正自2016年1月1日以後開始之年度期間生效。

以上為國際會計準則理事會已發布,金管會已認可且自 2017 年 1 月 1 日以後開始之會計年度適用之新發布、修訂及修正之準則或解釋,本集團評估新公布或修正準則、或解釋對本集團並無重大影響。

- 2.截至財務報告通過發布日為止,本集團未採用下列國際會計準則理事會已發布但金管 會尚未認可之準則或解釋、修訂及修正準則或解釋如下:
 - (1)國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」

此新準則之核心原則為企業認列收入以描述對客戶所承諾之商品或勞務之移轉,該 收入之金額反映該等商品或勞務換得之預期有權取得之對價。企業依該核心原則認 列收入,應適用下列步驟:

(a) 步驟1:辨認客戶合約

(b) 步驟2:辨認合約中之履約義務

(c) 步驟3:決定交易價格

(d) 步驟4:將交易價格分攤至合約中之履約義務

(e) 步驟5:於(或隨)企業滿足履約義務時認列收入

此外,亦包括一套整合性之揭露規定,該等規定將使企業對財務報表使用者提供有關客戶合約所產生之收入與現金流量之性質、金額、時間及不確定性之綜合資訊。 此準則自2018年1月1日以後開始之年度期間生效。

(2)國際財務報導準則第9號「金融工具」

國際會計準則理事會發布國際財務報導準則第9號「金融工具」最終版本,內容包括分類與衡量、減損及避險會計,此準則將取代國際會計準則第39號「金融工具:認列與衡量」及先前已發布之國際財務報導準則第9號「金融工具」(內容包含分類與衡量及避險會計)。

分類與衡量:金融資產以攤銷後成本衡量、透過損益按公允價值衡量或透過其他綜 合損益按公允價值衡量,主要係以管理金融資產之經營模式及該金融資產之現金流 量特性為基礎;金融負債則以攤銷後成本衡量或透過損益按公允價值衡量外,另有 「本身信用」變動不認列於損益之規定。

減損:係以預計損失模型評估減損損失,以原始認列後之信用風險是否重大增加而 認列12個月或存續期間之預計信用損失。

避險會計:係以風險管理目標為基礎採用避險會計,並以避險比率衡量有效性。

此準則自2018年1月1日以後開始之年度期間生效。

(3)國際財務報導準則 10 號「合併財務報表」及國際會計準則 28 號「投資關聯企業及合資」之修正—投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入

此計畫係為處理國際財務報導準則第10號「合併財務報表」與國際會計準則第28號「投資關聯企業及合資」間,有關以子公司作價投資關聯企業或合資而喪失控制之不一致。國際會計準則第28號規定投入非貨幣性資產以交換關聯企業或合資之權益時,應依順流交易之處理方式銷除所產生利益或損失之份額;國際財務報導準則第10號則規定應認列喪失對子公司之控制時之全數利益或損失。此修正限制國際會計準則第28號之前述規定,當構成國際財務報導準則第3號所定義為業務之資產出售或投入時,其所產生之利益或損失應全數認列。

此修正亦修改國際財務報導準則第10號使得投資者與其關聯企業或合資間,當出售或投入不構成國際財務報導準則第3號所定義業務之子公司時,其產生之利益或損失,僅就非屬投資者所享有份額之範圍認列。

此外,此修正經決議未定期延後生效,但仍允許提前適用。

(4)國際財務報導準則第16號「租賃」

此新準則要求承租人除特定豁免條件外,對所有租賃採單一會計模式,即將大部分 之租賃於資產負債表上認列資產及負債。另,出租人之租賃仍分類為營業租賃及融 資租賃。此準則自2019年1月1日以後開始之年度期間生效。

(5)未實現損失產生之遞延所得稅資產之認列(修正國際會計準則第12號「所得稅」)

此修正係釐清對於未實現損失產生之遞延所得稅資產之認列方式。此修正自2017年 1月1日以後開始之年度期間生效。

(6)揭露倡議(國際會計準則第7號「現金流量表」之修正)

此修正係針對與負債有關之籌資活動,增加期初至期末之調節資訊。此修正自2017 年1月1日以後開始之年度期間生效。

(7)國際財務報導準則第15號「客戶合約之收入」之修正

此修正主要係釐清如何辨認合約中之履約義務、如何決定一企業為主理人或代理人 ,以及如何決定授權之收入認列應於某一時點或隨時間逐步認列。此修正自2018年 1月1日以後開始之年度期間生效。

(8)國際財務報導準則第2號「股份基礎給付」之修正

此修正包括:(1)釐清現金交割之股份基礎給付交易若有既得條件(服務條件或非市價績效條件),則於衡量日估計股份增值權時不得考慮市價條件以外之既得條件。既得條件應藉由調整股份增值權數量納入負債衡量之考量、(2)釐清若稅務法令要求企業以權益工具交割時,應扣繳稅款,此種協議若除了前述淨交割特性以外,其餘皆可符合權益工具交割之股份基礎給付交易,則此協議屬權益工具交割之交易、及(3)釐清若以現金交割之股份基礎給付交易相關條款於修改後,符合以權益工具交割之股份基礎給付交易相關條款於修改後,符合以權益工具交割之股份基礎給付交易處理,並於修改日以權益工具於該日之公允價值就已取得之商品或勞務之累計程度認列至權益,除列以現金交割之股份基礎給付交易於修改日存在之負債,修改日除列之負債之帳面金額與認列至權益金額兩者之差額認列至損益。此修正自2018年1月1日以後開始之年度期間生效。

以上為國際會計準則理事會已發布但金管會尚未認可之準則或解釋,其實際適用日期 以金管會規定為準,本集團除現正評估(1)之新公布或修正準則、或解釋之潛在影響, 暫時無法合理估計前述準則或解釋對本集團之影響外,其餘新公布或修正準則、或解 釋對本集團並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

1.遵循聲明

本集團民國一〇五及一〇四年一月一日至六月三十日之合併財務報告係依據證券發行 人財務報告編製準則及經金管會認可之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。

除下列四.3~四.5所述外,本財務報告所採用之重大會計政策與民國一〇四年度財務報告相同。相關資訊請參閱民國一〇四年度財務報告附註四。

2.編製基礎

合併財務報表除以公允價值衡量之金融工具外,係以歷史成本為編製基礎。除另行註 明者外,合併財務報表均以新台幣仟元為單位。

3.合併概況

合併財務報告編製原則與民國一〇四年度合併財務報告一致,相關資訊請參閱民國 一〇四年度合併財務報告附註四.3。

合併財務報表編製主體如下:

投資公			所:	持有權益百分	比
司名稱	子公司名稱	主要業務	104.6.30	104.12.31	104.6.30
本公司	昌蒲實業股份有 限公司	事業廢棄物(含 一般及有害)之 清除處理業務	99.87%	99.87%	99.87%
本公司	龍蒲應用材料股 份有限公司	事業廢棄物之 清除處理業務	100.00%	100.00%	100.00%
本公司	Super Dragon International Co., Ltd.	環保設備、混合 五金廢料等銷 售業務	100.00%	100.00%	100.00%
Super Dragon International Co., Ltd.	佳龍環保科技(蘇州)有限公司	從事各項工業 廢棄物之回收 處理及再利用 等產銷業務	100.00%	100.00%	100.00%

上述列入合併財務報表之子公司中,部分子公司之財務報表未經會計師核閱,該等子公司民國一〇五及一〇四年六月三十日之資產總額分別為464,239仟元及505,525仟元,負債總額分別為3,491仟元及10,520仟元,民國一〇五及一〇四年四月一日至六月三十日之綜合損益總額分別為3,212仟元及(12,385)仟元,民國一〇五及一〇四年一月一日至六月三十日之綜合損益總額分別為(2,299)仟元及(19,665)仟元。

4.退職後福利計畫

期中期間之退休金成本則採用前一年度結束日依精算決定之退休金成本率,以年初至當期末為基礎計算,並針對該結束日後之重大市場波動,及重大縮減、清償或其他重大一次性事項加以調整並予以揭露。

5.所得稅

期中期間之所得稅費用,則以當年度預期總盈餘所適用之稅率予以應計及揭露,亦即將估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前利益。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本集團編製合併財務報表時,管理階層須於報導期間結束日進行判斷、估計及假設,此將影響收入、費用、資產與負債報導金額及或有負債之揭露。然而,這些重大假設與估計之不確定性可能導致資產或負債之帳面金額須於未來期間進行重大調整之結果。

本合併財務報告所採用之重大判斷、估計及假設不確定性之主要來源與民國一〇四年度 合併財務報告一致,相關資訊請參閱民國一〇四年度合併財務報告附註五。

六、重要會計項目之說明

1.現金及約當現金

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
庫存現金及零用金	\$109	\$149	\$177
支票及活期存款	254,292	178,098	283,081
定期存款	45,000	45,000	45,000
合計	\$299,401	\$223,247	\$328,258

2.無活絡市場之債務工具投資

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
受限制銀行存款	\$767	\$790	\$6,167
流動	\$767	\$790	\$6,167

本集團無活絡市場之債務工具投資提供擔保之情況,請參閱附註八。

3.應收票據

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
應收票據因營業而發生	\$-	\$417	\$-
減:備抵呆帳			
淨額	\$ -	\$417	\$-

本集團之應收票據未有提供擔保之情況。

4.應收帳款淨額

(1)應收帳款淨額明細如下:

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
應收帳款	\$65,889	\$42,908	\$44,533
減:備抵呆帳	(3,777)	(3,777)	(3,777)
合計	\$62,112	\$39,131	\$40,756

本集團之應收帳款未有提供擔保之情況。

(2)本集團對客戶之授信期間通常為月結90天。有關應收帳款減損所提列之呆帳變動及 帳齡分析資訊如下(信用風險揭露請詳附註十二):

	個別評估	群組評估	
	之減損損失	之減損損失	合計
105.1.1	\$-	\$3,777	\$3,777
當期發生/(迴轉)之金額	-	-	-
匯率影響數			-
105.6.30	\$ -	\$3,777	\$3,777
104.1.1	\$-	\$3,777	\$3,777
當期發生/(迴轉)之金額	-	-	-
匯率影響數			-
104.6.30	\$-	\$3,777	\$3,777

應收帳款淨額之逾期帳齡分析如下:

		已逾期但尚未減損之應收帳款					
	未逾期						
	且未減損	1-60天	61-90天	91-365天	合計		
105.6.30	\$58,850	\$3,262	\$-	\$-	\$62,112		
104.12.31	39,131	-	-	-	39,131		
104.6.30	40,750	6	-	_	40,756		

5.存貨

(1)存貨淨額明細如下:

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
原料	\$706,327	\$761,692	\$800,795
在製品	234,552	145,882	257,325
製成品	222,171	195,434	166,956
淨額	\$1,163,050	\$1,103,008	\$1,225,076

- (2)本集團民國一〇五年四月一日至六月三十日、一〇四年四月一日至六月三十日、一〇五年一月一日至六月三十日及一〇四年一月一日至六月三十日認列為費用之存貨成本分別為674,486仟元、613,090仟元、1,247,013仟元及1,328,343仟元。其中包括存貨跌價及呆滯損失(回升利益)分別為(24,316)仟元、14,296仟元、(33,970)仟元及14,296仟元。
- (3)前述存貨未有提供擔保之情事。

6.採用權益法之投資

(1)本集團採用權益法之投資明細如下:

	105.	105.6.30		104.12.31		104.6.30	
被投資公司名稱	金額	持股 比例	金額	持股 比例	金額	持股 比例	
投資關聯企業: 大數據股份有限公司	\$6,304	23.33%	\$4,318	23.33%	\$3,375	23.33%	
人数據殷切有限公司	50,304	23.3370	\$ 4 ,316	23.3370	\$5,575	23.33%	

(2)本集團對大數據股份有限公司之投資對本集團並非重大。本集團投資大數據股份有限公司之帳面金額為 6,304 仟元,其財務資訊依所享有份額合計列示如下:

	105.4.1~	105.1.1~	104.5.4(公司設
	105.6.30	105.6.30	立日)~104.6.30
繼續營業單位本期淨利	\$(726)	\$1,986	\$(125)
本期其他綜合損益	-	-	-
(稅後淨額)			_
本期綜合損益總額	\$(726)	\$1,986	\$(125)

前述投資關聯企業於民國一〇五年六月三十日並無或有負債或資本承諾,亦未有提供擔保之情事。

7.不動產、廠房及設備

		房屋及	機器	辦公	運輸			未完工程及	
	土地	建築	設備	設備	設備	其他設備	租賃改良	待驗設備	合計
成本:									
105.1.1	\$443,855	\$287,797	\$341,698	\$17,624	\$48,943	\$41,567	\$2,248	\$1,365,766	\$2,549,498
增添	-	-	-	61	-	630	-	33,565	34,256
處分	-	-	(65)	-	(265)	-	-	-	(330)
匯率變動之影	-	(3,936)	(4,825)	-	(127)	(409)	-	-	(9,297)
鄉									
移轉	-			144		1,470		4,900	6,514
105.6.30	\$443,855	\$283,861	\$336,808	\$17,829	\$48,551	\$43,258	\$2,248	\$1,404,231	\$2,580,641
104.1.1	\$443,855	\$280,360	\$355,570	\$17,624	\$41,019	\$39,683	\$2,248	\$1,232,463	\$2,412,822
增添	-	812	33	-	827	28	-	107,628	109,328
處分	-	(524)	(200)	-	(844)	-	-	-	(1,568)
匯率變動之影	-	(3,380)	(3,683)	-	(89)	(297)	-	-	(7,449)
鄉音									
移轉	-	9,507	(9,316)		8,510	2,087		_	10,788
104.6.30	\$443,855	\$286,775	\$342,404	\$17,624	\$49,423	\$41,501	\$2,248	\$1,340,091	\$2,523,921
折舊及減損:									
105.1.1	\$-	\$130,741	\$304,128	\$14,939	\$36,067	\$32,267	\$1,068	\$-	\$519,210
折舊	-	6,310	5,064	496	1,256	1,386	37	-	14,549
處分	-	-	(65)	-	(265)	-	-	-	(330)
匯率變動之影	-	(1,785)	(4,125)	-	(98)	(292)	-	-	(6,300)
鄉									
105.6.30	\$-	\$135,266	\$305,002	\$15,435	\$36,960	\$33,361	\$1,105	\$-	\$527,129
104.1.1	\$-	\$117,884	\$299,633	\$13,713	\$34,358	\$29,272	\$995	\$-	\$495,855
折舊	-	6,576	6,101	644	1,308	1,511	37	-	16,177
處分	-	(524)	(200)	-	(759)	-	-	-	(1,483)
匯率變動之影	-	(1,348)	(2,887)	-	(80)	(222)	-	-	(4,537)
響									
移轉		1,649	(1,649)	-			-		
104.6.30	\$-	\$124,237	\$300,998	\$14,357	\$34,827	\$30,561	1,032	\$-	\$506,012

淨帳面金額:

105.6.30	\$443,855	\$148,595	\$31,806	\$2,394	\$11,591	\$9,897	\$1,143	\$1,404,231	\$2,053,512
104.12.31	\$443,855	\$157,056	\$37,570	\$2,685	\$12,876	\$9,300	\$1,180	\$1,365,766	\$2,030,288
104.6.30	\$443,855	\$162,538	\$41,406	\$3,267	\$14,596	\$10,940	\$1,216	\$1,340,091	\$2,017,909

(1)本集團建築物之重大組成部分主要為主建物及附屬設備等,並分別按其耐用年限 5~33年及1~33年提列折舊。

(2)不動產、廠房及設備借款成本資本化金額及利率如下:

項目	105.6.30	104.6.30
未完工程及待驗設備、預附設備款	\$6,202	\$7,564
借款成本資本化利率區間	1.4905%	1.638%

(3)不動產、廠房及設備提供擔保情形,請參閱附註八。

8.無形資產

_	電腦軟體
成本:	
105.1.1	\$25
增添-內部發展	-
增添-單獨取得	-
匯率變動之影響	
105.6.30	\$25
104.1.1	\$25
增添-內部發展	-
增添-單獨取得	-
匯率變動之影響	
104.6.30	\$25
攤銷及減損:	
105.1.1	\$13
攤銷	5
到期除列	-
匯率變動之影響	-
105.6.30	\$18

104.1.1	\$5
難銷	4
到期除列	-
匯率變動之影響	
104.6.30	\$9
淨帳面金額:	
105.6.30	\$7
104.12.31	\$12
104.6.30	\$16

認列無形資產之攤銷金額如下:

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
項目	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
管理費用	\$3	\$2	\$5	\$4

9.其他非流動資產

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
預付設備款	\$69,550	\$73,523	\$71,300
存出保證金	8,349	24,831	24,769
長期預付租金	9,872	10,048	10,130
合計	\$87,771	\$108,402	\$106,199

截至民國一○五年六月三十日、一○四年十二月三十一日及一○四年六月三十日止,長期預付租金中屬於土地使用權之金額分別為9,872仟元、10,048仟元及10,130仟元。

10.短期借款

	利率區間(%)	105.6.30	104.12.31	104.6.30
無擔保銀行借款	1.08%~1.25%	\$550,000	\$350,000	\$410,000

本集團截至民國一○五年六月三十日、一○四年十二月三十一日及一○四年六月三十日止,尚未使用之短期借款額度分別約為534,125仟元、742,375仟元972,150仟元。

11.其他應付款

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
應付費用	\$17,542	\$23,431	\$25,981
應付設備款		2,153	6,065
合計	\$17,542	\$25,584	\$32,046

12.其他流動負債

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
其他流動負債	\$4,087	\$3,610	\$5,061
預收貨款	58	59	625
合計	\$4,145	\$3,669	\$5,686

13.其他非流動負債

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
應計退休金負債	\$5,794	\$5,655	\$8,246
存入保證金	-	50	-
長期遞延收入	10,676	10,676	10,676
合計	\$16,470	\$16,381	\$18,922

14.遞延收入

(1)政府補助

	民國105年上	半年度	民國104年上半年度	
期初餘額	\$10),676	\$10,676	
於本期收取之政府補助		-	-	
認列至損益者				
期末餘額	\$10,676		\$10,676	
	105.6.30	104.12.3	1 104.6.30	
與資產有關之遞延收入-				
非流動	\$10,676	\$10,676	\$10,676	

桃園縣政府為促進環保產業發展,乃與本公司及子公司簽訂桃園縣政府環保科技園區補助契約書規定,本公司及子公司於取得土地後,由該機關補助本公司及子公司

第一期款分別為新台幣10,354仟元及322仟元之產業發展促進基金,帳列長期遞延收入項下,並待廠房建造完成後,依廠房耐用年限分期認列補助收入。

15.長期借款

本集團民國一〇五年六月三十日、一〇四年十二月三十一日及一〇四年六月三十日長 期借款明細如下:

				借款金額		
債權人	借款期間	利率(%)	105.6.30	104.12.31	104.6.30	償還辦法
臺灣銀行	102.01.31~	按(臺灣銀行定期儲	\$129,808	\$135,577	\$141,346	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	102.04.08~	按(臺灣銀行定期儲	138,462	144,615	150,769	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	102.04.24~	按(臺灣銀行定期儲	86,538	90,385	94,231	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	102.06.24~	按(臺灣銀行定期儲	83,077	86,769	90,461	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	103.04.23~	按(臺灣銀行定期儲	102,981	107,558	112,135	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	103.09.01~	按(臺灣銀行定期儲	200,769	209,692	218,615	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
臺灣銀行	103.09.17~	按(臺灣銀行定期儲	86,538	90,385	94,231	註1
-龍潭分行	116.09.18	蓄機動利率				
(擔保借款)		+0.155%)/0.946%				
合 計			828,173	864,981	901,788	
減:一年內到期-	之長期借款		(73,615)	(73,615)	(73,615)	
一年以上到期之-	長期借款		\$754,558	\$791,366	\$828,173	

註 1: 自借款日後一年內分次撥貸,寬限期2年,寬限期間,利息按月計收,寬限期滿,本金分156期按月平均攤還,利息仍按月計收。

臺灣銀行擔保借款係以部分土地及建築物設定第一順位抵押權,擔保情形請參閱附註八。

16.退職後福利計畫

確定提撥計畫

本集團民國一〇五及一〇四年四月一日至六月三十日認列確定提撥計畫之費用金額分別為710仟元及892仟元,民國一〇五及一〇四年一月一日至六月三十日認列確定提撥計畫之費用金額分別為1,464仟元及1,810仟元。

確定福利計畫

本集團民國一〇五及一〇四年一月一日至六月三十日認列確定福利計畫之費用金額分別為293仟元及419仟元。

認列確定福利計畫之費用金額如下:

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
營業成本	\$20	\$20	\$40	\$43
推銷費用	-	2	-	4
管理費用	140	187	253	372
合 計	\$160	\$209	\$293	\$419

17.權益

(1)普通股

截至民國一〇五年六月三十日、一〇四年十二月三十一日及一〇四年六月三十日止,本公司額定股本均為1,500,000仟元,已發行股本均為1,032,082仟元,每股票面金額10元,分為103,208,229股。

(2)資本公積

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
發行溢價	\$1,099,188	\$1,099,188	\$1,099,188
庫藏股票交易	10,253	10,253	10,253
合計	\$1,109,441	\$1,109,441	\$1,109,441

依法令規定,資本公積除填補公司虧損外,不得使用,公司無虧損時,超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得產生之資本公積,每年得以實收資本之一定比率為限撥充資本,前述資本公積亦得按股東原有股份之比例以現金分配。

(3)盈餘分派及股利政策

A. 盈餘分配:

依本公司原章程規定,年度決算如有盈餘,依下列順序分派之:

- 1. 員工紅利百分之五至百分之十二。
- 2. 董事監察人酬勞百分之三至百分之五。
- 3.股東紅利就一至二款之數額分配後,加計以前年度之未分配盈餘,經董事會擬 定分派議案提請股東會決議。

前項員工分配股票紅利時,其對象得包括符合一定條件之從屬員工,其條件授權董事會決議。

本公司股利政策,係考量所處產業持續成長之特性,為因應公司未來發展,及 滿足股東對現金流入之需求,每年發放之現金股利不得低於當年度發放現金股 利及股票股利合計數之百分之十。

惟依主管機關於民國一〇四年五月二十日修訂公司法第二百三十五條之一之規 定,公司應以當年度獲利狀況分派員工酬勞。本公司於民國一〇五年六月二十 二日召開股東常會修改公司章程。

依本公司修正後章程規定,公司年度如有獲利(所謂獲利係指稅前利益扣除分派員工酬勞及董事酬勞前之利益),應提撥3.6%至8.6%為員工酬勞及不高於3.6%為 董事酬勞。但公司尚有累積虧損(包括調整未分配盈餘金額)時,應預先保留彌補數額。

前項員工酬勞得以股票或現金為之,其給付對象得包括符合董事會所訂條件之從屬公司員工。前項董事酬勞僅得以現金為之。前二項應由董事會決議行之,並報告股東會。

本公司年度總決算如有本期稅後淨利,應先彌補累積虧損,依法提撥10%為法定盈餘公積;但法定盈餘公積累積已達本公司實收資本總額時,不在此限。次依法令或主管機關規定提撥或迴轉特別盈餘公積。嗣餘盈餘,連同期初未分配盈餘,由董事會擬具盈餘分配議案,提請股東會決議分派股東紅利。

本公司股利政策,係配合目前及未來之發展計劃、考量投資環境、資金需求及國內外競爭狀況,並兼顧股東利益等因素,分配股東紅利時,得以現金或股票方式為之,其中現金股利不低於股利總額之10%。

依公司法規定,法定盈餘公積應提撥至其總額已達資本總額為止。法定盈餘公積得彌補虧損。公司無虧損時,得以法定盈餘公積超過實收資本額百分之二十 五之部分按股東原有股份之比例發放新股或現金。

B.本公司民國一○四年度係產生虧損,故無盈餘分配情形,另民國一○四年六月二十二日之股東常會,決議民國一○三年度盈餘指撥及分配案及每股股利,列示如下:

	盈餘指撥及	
	分配案	每股股利(元)
	103 年度	103 年度
法定盈餘公積	\$875	\$-

有關員工酬勞及董事酬勞估列基礎及認列金額之相關資訊請詳附註六、20。

(4)法定盈餘公積

依公司法規定,法定盈餘公積應提撥至其總額已達資本總額為止。法定盈餘公積得 彌補虧損。公司無虧損時,得以法定盈餘公積超過實收資本額百分之二十五之部分 按股東原有股份之比例發放新股或現金。

(5)特別盈餘公積

本公司分派民國一〇一年度盈餘時,必須依法令規定就當年度發生之帳列其他股 東權益減項淨額提列特別盈餘公積,嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時,得就 迴轉部分分派盈餘。

採用國際財務報導準則後,本公司依金管會於民國一〇一年四月六日發布之金管證發字第1010012865號函令規定,首次採用國際財務報導準則時,帳列未實現重估增值及累積換算調整數利益於轉換日因選擇採用國際財務報導準則第1號「首次採用國際財務報導準則」豁免項目而轉入保留盈餘部分,提列相同數額之特別盈餘公積。開始採用國際財務報導準則編製財務報告後,於分派可分配盈餘時,就首次採用國際財務報導準則時已提列特別盈餘公積之餘額與其他權益減項淨額之差額補提列特別盈餘公積。嗣後其他股東權益減項餘額有迴轉時,得就迴轉部分分派盈餘。

本公司截至民國一〇五及一〇四年六月三十日止,首次採用之特別盈餘公積金額皆為20,301仟元。另本公司於民國一〇五及一〇四年上半年度並未有使用、處分或重分類相關資產,因而迴轉特別盈餘公積至未分配盈餘。截至民國一〇五及一〇四年六月三十日止,首次採用之特別盈餘公積金額皆為20,301仟元。

(6)非控制權益

	民國105年上半年度	民國104年上半年度
期初餘額	\$255	\$252
歸屬於非控制權益之本期淨利(損)		1
期末餘額	\$255	\$253

18. 營業收入

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
_	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
商品銷售收入	\$721,646	\$603,787	\$1,307,393	\$1,353,813
減:銷貨退回及折讓	(4)	-	(18)	-
勞務提供收入	5,416	6,127	10,261	15,513
合 計	\$727,058	\$609,914	\$1,317,636	\$1,369,326

19. 營業租賃承諾

本集團為出租人

本集團簽訂商業財產租賃合約,其剩餘年限介於5年間,所有租賃合約皆包含能依據 每年市場環境調整租金之條款。

依據不可取消之營業租賃合約,民國一○五年六月三十日、一○四年十二月三十一日 及一○四年六月三十日承租人之未來最低租賃給付總額如下:

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
不超過一年	\$462	\$462	\$-
超過一年但不超過五年	1,540	1,771	-
超過五年			
合 計	\$2,002	\$2,233	\$-

本集團民國一〇五年四月一日至六月三十日及一月一日至六月三十日認列為收益之租金分別為116仟元及347仟元;民國一〇四年一月一日至六月三十日未有認列為收益之租金。

20.員工福利、折舊及攤銷費用功能別彙總表如下:

功能別	10	105.4.1~105.6.30			4.4.1~104.6	.30
	屬於營業	屬於營業		屬於營業	屬於營業	
性質別	成本者	費用者	合計	成本者	費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	\$6,460	\$12,420	\$18,880	\$9,463	\$12,609	\$22,072
勞健保費用	788	1,089	1,877	1,081	1,116	2,197
退休金費用	284	586	870	418	683	1,101
其他員工福利費用	776	1,220	1,996	1,170	610	1,780
折舊費用	3,615	3,502	7,117	4,800	3,242	8,042
攤銷費用	_	3	3	_	2	2

功能別	民國	民國105年上半年度			104年上半年	手度
	屬於營業	屬於營業		屬於營業	屬於營業	
性質別	成本者	費用者	合計	成本者	費用者	合計
員工福利費用						
薪資費用	\$14,211	\$25,214	\$39,425	\$19,725	\$24,976	\$44,701
勞健保費用	1,640	2,236	3,876	2,236	2,459	4,695
退休金費用	600	1,157	1,757	876	1,353	2,229
其他員工福利費用	1,725	2,334	4,059	2,623	2,375	4,998
折舊費用	7,561	6,988	14,549	9,606	6,571	16,177
攤銷費用	ı	5	5	-	4	4

本公司民國一〇五年六月二十二日股東常會通過章程修正議案,依章程規定年度如有獲利,應提撥3.6%~8.6%為員工酬勞,不高於3.6%為董事酬勞。但尚有累積虧損時,應預先保留彌補數額。前述員工酬勞以股票或現金為之,應由董事會以董事三分之二以上之出席及出席董事過半數同意之決議行之,並報告股東會。有關董事會通過之員工酬勞及董監酬勞相關資訊,請至臺灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

本公司民國一〇五及一〇四年上半年度均尚有待彌補虧損,故無估列員工酬勞及董監酬勞之情形。

本公司民國一○四年度為稅前虧損,故無估列員工酬勞及董監酬勞之情形。

民國一〇三年度盈餘實際配發員工紅利董監酬勞均為0仟元,與民國一〇三年度財務報告認列之員工紅利及董監酬勞分別為356仟元及355仟元,業於民國一〇四年度調整其差異數。

21. 營業外收入及支出

(1)其他收入

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
租金收入	\$116	\$-	\$347	\$-
利息收入	618	411	760	1,016
其他收入-其他	26	164	145	224
合 計	\$760	\$575	\$1,252	\$1,240
(2)其他利益及損失				
	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
處分不動產、廠房及設備利益				
(損失)	\$-	\$1	\$160	\$1
淨外幣兌換利益(損失)	1,563	(1,608)	(1,120)	(4,710)
其他支出	(53)	(7,303)	(466)	(7,556)
合 計	\$1,510	\$(8,910)	\$(1,426)	\$(12,265)
(3)財務成本				
	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30

\$1,576 \$1,221 \$3,082

\$2,250

22.其他綜合損益組成部分

銀行借款之利息

民國一〇五年四月一日至六月三十日其他綜合損益組成部分如下:

	當期	當期重分類		所得稅利	
_	產生	調整	小計	益(費用)	稅後金額
後續可能重分類至損益之項目:					
國外營運機構財務報表換算之					
兌換差額	\$(6,912)	\$-	\$(6,912)	\$1,175	\$(5,737)

民國一〇四年四月一日至六月三十日其他綜合損益組成部分如下:

	當期	當期重分類		所得稅利	
-	產生	調整	小計	益(費用)	税後金額
後續可能重分類至損益之項目:					
國外營運機構財務報表換算之					
兌換差額 -	\$(4,293)	<u>\$-</u>	\$(4,293)	\$730	\$(3,563)
民國一〇五年上半年度其	他綜合損益	組成部分如下:			
	當期	當期重分類		所得稅利	
	產生	調整	小計	益(費用)	稅後金額
後續可能重分類至損益之項目: 國外營運機構財務報表換算之	<i></i>				NOW IN
兌換差額	\$(8,042)	\$-	\$(8,042)	\$1,367	\$(6,675)
-					
民國一〇四年上半年其他	綜合損益組	成部分如下:			
	當期	當期重分類		所得稅利	
_	產生	調整	小計	益(費用)	稅後金額
後續可能重分類至損益之項目:					
國外營運機構財務報表換算之					
兌換差額	\$(7,721)	<u>\$-</u>	\$(7,721)	\$1,313	\$(6,408)
23.所得稅					
所得稅費用(利益)主要組)	成如下:				
(1)認列於損益之所得稅					
		105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
		105.6.30	104.4.1	105.6.30	104.6.30
			1011011		
當期應付所得稅		\$-	\$(2,728)	\$-	\$-
以前年度之當期所行	昇稅於本期 々		(1,161)	359	(1,161)
調整	= • • • • •		` ' '		` ' '
遞延所得稅費用(利益)	:				
與暫時性差異之原始	產生及其迴	_	(2,761)	-	(2,718)

\$359

\$(6,650)

\$359

\$(3,879)

轉有關之遞延所得稅費用(利益)

所得稅費用(利益)

(2)認列於其他綜合損益之所得稅

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
國外營運機構財務報表換算之兌換				
差額	\$(1,175)	\$(730)	\$(1,367)	\$(1,313)

(3) 兩稅合一相關資訊

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
股東可扣抵稅額帳戶餘額	\$26,285	\$26,281	\$27,790

本公司民國一○四年度預計及一○三年度實際盈餘分配之稅額扣抵比率皆為20.48%。

依修正之所得稅法第66條之6,屬中華民國境內居住之個人股東其可扣抵稅額比率 予以減半,並自民國一〇四年一月一日起分配盈餘時開始適用。

本公司已無屬民國八十六年度(含)以前之未分配盈餘。

(4)所得稅申報核定情形

截至民國一○五年六月三十日,本公司及子公司之所得稅申報核定情形如下:

的复数由规拉它性联

本公司	核定至民國一○三年度
子公司—昌蒲實業股份有限公司	核定至民國一○三年度
子公司-龍蒲應用材料股份有限公司	核定至民國一○三年度

24.每股盈餘

基本每股盈餘金額之計算,係以當期歸屬於母公司普通股持有人之淨利除以當期流通在外之普通股加權平均股數。

稀釋每股盈餘金額之計算,係以當期歸屬於母公司普通股持有人之淨利(經調整轉換公司債之利息後)除以當期流通在外之普通股加權平均股數加上所有具稀釋作用之潛在普通股轉換為普通股時將發行之加權平均普通股股數。

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
(1)基本每股盈餘				
歸屬母公司普通股持有人之淨利				
(損)(仟元)	\$24,283	\$(35,735)	\$14,474	\$(27,050)
基本每股盈餘之普通股加權平均				
股數(仟股)	103,208	103,208	103,208	103,208
歸屬母公司普通股持有人之基本				
每股盈餘(虧損)(元)	\$0.24	\$(0.35)	\$0.14	\$(0.26)
(2)稀釋每股盈餘				
歸屬母公司普通股持有人之淨利				
(損)(仟元)	\$24,283	\$(35,735)	\$14,474	\$(27,050)
基本每股盈餘之普通股加權平均	103,208	103,208	103,208	103,208
股數(仟股)				
稀釋效果:				
員工酬勞一股票(仟股)	(不適用)	(不適用)	(不適用)	(不適用)
經調整稀釋效果後之普通股加權				
平均股數(仟股)	103,208	103,208	103,208	103,208
稀釋每股盈餘(虧損)(元)	\$0.23	\$(0.35)	\$0.14	\$(0.26)

於報導期間後至財務報表通過發布前,並無任何重大改變期末流通在外普通股或潛在普通股股數之其他交易。

七、關係人交易

1.與關係人間之重大交易事項

(1) 本集團主要管理階層之獎酬

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
短期員工福利	\$2,688	\$2,765	\$5,629	\$5,986
退職後福利		19		50
合 計	\$2,688	\$2,784	\$5,629	\$6,036

八、質押之資產

本集團計有下列資產作為擔保品:

		帳面金額		
項 目	105.6.30	104.12.31	104.6.30	擔保債務內容
存出保証金	\$7,201	\$21,465	\$21,460	履約保證金
不動產、廠房及設備-土地	213,665	213,665	213,665	長期借款擔保額度
未完工程	1,404,230	1,365,766	1,340,091	長期借款擔保額度
無活絡市場之債務工具投資	767	790	411	納稅專戶
無活絡市場之債務工具投資			5,756	履約保證專戶
合 計	\$1,625,863	\$1,601,686	\$1,581,383	

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

- 1.截至民國一○五年六月三十日止,本集團為投標押金開立16,467仟元之保證票據,因屬 或有負債性質,故未列入財務報表之中。
- 2.截至民國一○五年六月三十日止,本集團尚未完成之重大不動產、廠房及設備合約明細如下:

合約性質	合約金額	已付金額	未付金額_
廠房工程等	\$1,268,308	\$1,231,485	\$36,823

上列已付金額帳列不動產、廠房及設備-未完工程項下。

十、重大之災害損失

無此事項。

十一、重大之期後事項

無此事項。

十二、其他

1.金融工具之種類

金融資產

	105.6.30	104.12.31	104.6.30
放款及應收款:			
現金及約當現金(不含庫存現金)	\$299,292	\$223,098	\$328,081
無活絡市場之債務工具投資	767	790	6,167
應收票據	-	417	-
應收帳款	62,112	39,131	40,756
其他應收款	11,776	8,833	9,586
合計	\$373,947	\$272,269	\$384,590
金融負債			
	105.6.30	104.12.31	104.6.30
攤銷後成本衡量之金融負債:			
短期借款	\$550,000	\$350,000	\$410,000
應付款項	73,825	95,349	104,332
長期借款(含一年內到期者)	828,173	864,981	901,788
合計	\$1,451,998	\$1,310,330	\$1,416,120

2.財務風險管理目的與政策

本集團財務風險管理目標主要為管理營運活動相關之市場風險、信用風險及流動性 風險,本集團依集團之政策及風險偏好,進行前述風險之辨認、衡量及管理。

本集團對於前述財務風險管理已依相關規範建立適當之政策、程序及內部控制,重要財務活動須經董事會依相關規範及內部控制制度進行覆核。於財務管理活動執行期間,本集團須確實遵循所訂定之財務風險管理之相關規定。

3.市場風險

本集團之市場風險係金融工具因市場價格變動,導致其公允價值或現金流量波動之 風險,市場風險主要包括匯率風險及利率風險。

實務上極少發生單一風險變數單獨變動之情況,且各風險變數之變動通常具關聯性,惟以下各風險之敏感度分析並未考慮相關風險變數之交互影響。

匯率風險

本集團匯率風險主要與營業活動(收入或費用所使用之貨幣與本集團功能性貨幣不同時)及國外營運機構淨投資有關。

本集團之應收外幣款項與應付外幣款項之部分幣別相同,此時,部位相當部分會產 生自然避險效果;另國外營運機構淨投資係屬策略投資,因此,本集團未對此進行 避險。

本集團匯率風險之敏感度分析主要針對財務報導期間結束日之主要外幣貨幣性項目 ,其相關之外幣升值/貶值對本集團損益及權益之影響。本集團之匯率風險主要受美 元匯率波動影響,敏感度分析資訊如下:

當新台幣對美元升值/貶值1%時,對本集團於民國一○五及一○四年上半年度之損益將分別減少/增加1,011仟元及344仟元。

利率風險

利率風險係因市場利率之變動而導致金融工具之公允價值或未來現金流量波動之風 險,本集團之利率風險主要係來自於分類為放款及應收款之浮動利率投資、固定利 率借款及浮動利率借款。

有關利率風險之敏感度分析主要針對財務報導期間結束日之利率暴險項目,包括浮動利率投資及浮動利率借款,並假設持有一個會計年度,當利率上升/下降10個基點,對本集團於民國一〇五及一〇四年上半年度之損益將分別增加/減少1,029仟元及1,022仟元。

4.信用風險管理

信用風險係指交易對手無法履行合約所載之義務,並導致財務損失之風險。本集團之信用風險係因營業活動(主要為應收帳款及票據)及財務活動(主要為銀行存款及各種金融工具)所致。

每一業務單位係依循本集團之顧客信用風險之政策、程序及控制以管理客戶信用風險。所有客戶之信用風險評估係綜合考量該客戶之財務狀況、信評機構之評等、以往之歷史交易經驗、目前經濟環境以及本集團內部評等標準等因素。另本集團亦於適當時機使用某些信用增強工具(例如預收貨款及保險等),以降低特定客戶之信用風險。

本集團截至民國一〇五年六月三十日、一〇四年十二月三十一日及一〇四年六月三十日,前十大客戶應收款項占本集團應收款項總額之百分比分別為75.59%、66.40%及80.21%,其餘應收款項之信用集中風險相對並不重大。

本集團之財務部依照集團政策管理銀行存款、固定收益證券及其他金融工具之信用 風險。由於本集團之交易對象係由內部之控管程序決定,屬信用良好之銀行及具有 投資等級之金融機構、公司組織及政府機關,無重大之履約疑慮,故無重大之信用 風險。

5.流動性風險管理

本集團藉由現金及約當現金及銀行借款等合約以維持財務彈性。下表係彙總本集團 金融負債之合約所載付款之到期情形,依據最早可能被要求還款之日期並以其未折 現現金流量編製,所列金額亦包括約定之利息。以浮動利率支付之利息現金流量, 其未折現之利息金額係依據報導期間結束日殖利率曲線推導而得。

非衍生金融工具

	短於一年	二至三年	四至五年	五年以上	合計
105.6.30					
借款	\$635,589	\$167,621	\$82,165	\$562,880	\$1,448,255
應付款項	73,825	-	-	-	73,825
104.12.31					
借款	\$436,984	\$170,852	\$83,617	\$607,132	\$1,298,585
應付款項	95,349	-	-	-	95,349
104.6.30					
借款	\$498,653	\$172,051	\$84,217	648,777	\$1,403,698
應付款項	104,332	-	-	-	104,332

6.金融工具之公允價值

(1)衡量公允價值所採用之評價技術及假設

公允價值係指於衡量日,市場參與者間在有秩序之交易中出售資產所能收取或移轉負債所需支付之價格。本集團衡量或揭露金融資產及金融負債公允價值所使用之方法及假設如下:

A.現金及約當現金、應收款項、應付款項及其他流動負債之帳面金額為公允價值 之合理近似值,主要係因此類工具之到期期間短。

- B.無活絡市場報價之債務類工具投資、銀行借款、應付公司債及其他非流動負債 ,公允價值係以交易對手報價或評價技術決定,評價技術係以現金流量折現分 析為基礎決定,其利率及折現率等假設主要係參考類似工具相關資訊(例如櫃 買中心參考殖利率曲線、Reuters商業本票利率平均報價及信用風險等資訊)。
- (2)以攤銷後成本衡量金融工具之公允價值

本集團部分以攤銷後成本衡量之金融資產及金融負債之帳面金額趨近於公允價值。

(3)金融工具公允價值層級相關資訊

本集團金融工具公允價值層級資訊請詳附註十二、7。

- 7. 公允價值層級
 - (1)公允價值層級定義

以公允價值衡量或揭露之所有資產及負債,係按對整體公允價值衡量具重要性之 最低等級輸入值,歸類其所屬公允價值層級。各等級輸入值如下:

第一等級:於衡量日可取得之相同資產或負債於活絡市場之報價(未經調整)。

第二等級:資產或負債直接或間接之可觀察輸入值,但包括於第一等級之報價 者除外。

第三等級:資產或負債之不可觀察輸入值。

對以重複性基礎認列於財務報表之資產及負債,於每一報導期間結束日重評估其 分類,以決定是否發生公允價值層級之各等級間之移轉。

(2)公允價值衡量之層級資訊

本集團未有非重複性按公允價值衡量之資產及重複性資產及負債。

8.具重大影響之外幣金融資產及負債資訊

本集團具重大影響之外幣金融資產資訊如下:

金額單位	:	仟元

		105.6.30	7. 1
		匯率	新台幣
金融資產			
貨幣性項目:			
美金	\$3,210	32.26	\$103,568
		104.12.31	
	外幣	匯率	新台幣
金融資產			
貨幣性項目:			
美金	\$707	32.75	\$21,143
		104.6.30	
	外幣	匯率	新台幣
金融資產			
貨幣性項目:			
美金	\$1,121	30.82	\$34,545
人民幣	\$12,863	4.97	\$63,948

上述資訊係以外幣帳面金額(已換算至功能性貨幣)為基礎揭露。

貨幣性金融資產及金融負債之兌換損益:

	105.4.1~	104.4.1~	105.1.1~	104.1.1~
	105.6.30	104.6.30	105.6.30	104.6.30
美 元	\$1,237	\$(1,608)	\$(1,626)	\$(4,710)
其 他	326	-	506	-
	\$1,563	\$(1,608)	\$(1,120)	\$(4,710)

9.資本管理

本集團資本管理之最主要目標,係確認維持健全之信用評等及良好之資本比率,以 支持企業營運及股東權益之極大化。本集團依經濟情況以管理並調整資本結構,可 能藉由調整股利支付、返還資本或發行新股以達成維持及調整資本結構之目的。

十三、<u>附註揭露事項</u>

- (一)重大交易事項相關資訊
 - 1.本公司對他人資金融通者:無。
 - 2.本公司為他人背書保證者:無。
 - 3.本公司期末持有關係人有價證券者(不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分):無。
 - 4.本公司本期累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額 百分之二十以上者:無。
 - 5.本公司取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
 - 6.本公司處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
 - 7.本公司與關係人進、銷貨交易金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上 者:無。
 - 8.本公司應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
 - 9.本公司從事衍生性商品交易:無。

(二)轉投資事業相關資訊

- 1.對被投資公司具有重大影響力或控制能力時,應揭露被投資公司之相關資訊(不 包含大陸被投資公司):詳附表一。
- 2.被投資公司具有控制能力時,應揭露被投資公司附註十一相關資訊:
 - 2.1.對他人資金融通者:無。
 - 2.2.為他人背書保證者:無。
 - 2.3.期末持有有價證券者(不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分):無。
 - 2.4本期累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分 之二十以上者:無。

- 2.5.取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
- 2.6. 處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
- 2.7.與關係人進、銷貨交易金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
- 2.8.應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
- 2.9.從事衍生性商品交易:無。

(三)大陸投資資訊:

1.大陸被投資公司名稱、主要營業項目、實收資本額、投資方式、資金匯出入情形、持股比例、投資損益、期末投資帳面價值、已 匯回投資損益及赴大陸地區投資限額:

單位:新台幣仟元

大陸被 投資公 司名稱	主要營業 項目及對 公司經營 之影響	實收資本額	投資方式	本期期初 自台灣 出累積投 資金額	本或資金出	回投 額	本末灣累資期台班投額	被投資公司本期損益	本直間資股的報報	4 奶 沁 ツ	期末投資帳面價值	截期匯資本已投益	本累灣大投期自出地金	經濟部投 審會核准 投資金額	依經濟部投 審會規定赴 大陸地區投 資限額
佳雅琛 (蘇州) 有限	從工物處利銷事業之理用業內人與無收再產	\$322,750 (註二)	(註一)	\$329,205 (註二)	\$-	\$ -	\$329,205	\$(13,447) (註二及註 三)	100%	\$(12,483) (註二、三 及四)		\$-	\$329,205 (註二)	\$338,888 (註二)	\$1,334,453

註一:透過第三地區投資設立公司再投資大陸公司。

註二:外幣金額係依資產負債表日匯率換算為新台幣金額。 註三:投資損益認列基礎係未經會計師核閱簽證之財務報表。

註四:上述有關佳龍環保科技(蘇州)有限公司之金額於編製合併財務報表時業已沖銷。

2.上列交易事項於編製合併財務報表時,業已沖銷。

十四、營運部門資訊

合併公司之營收主要來自貴金屬之製造及買賣業務,本集團營運決策者係覆核整體公司營運結果,以制定公司之資源之決策並評估公司整體之績效,故為單一營運部門,並採與附註四所述之重要會計政策彙總說明相同之基礎編製。

<u>附表一</u>

有重大影響力或控制能力之被投資公司相關資訊(不含大陸被投資公司)

單位:新台幣仟元

投資公司	被投資公司	所在地區	主要營業	原始投	資金額		期末持有		被投資	本期認列之	備註
· 投貝公可 名稱	名稱	州在地區	土安宮系 項目	本期 期末	上期期末	股數	比率	帳面 金額	公司本期 (損)益	投資(損)益	
佳龍科技 工程股份 有限公司		桃園縣龍潭鄉中興路483巷36號1樓		\$179,770	\$179,770	17,977,000	99.87%	\$195,454	\$(743)	\$(742) 註 1	註 3
佳龍科技 工程股份 有限公司	龍蒲應用材 料股份有限 公司	桃園縣觀音鄉源遠 街1號	事業廢棄物之清除處理業務	9,400	9,400	1,000,000	100.00%	10,103	40	40	註3
佳龍科技 工程股份 有限公司	Dragon International Co., Ltd.	Rm 51, 5th Britannia House, Jalan Cator, Bandar Seri Begawan BS 8811, Brunei Darussalam	五金廢料等銷	271,127	271,127	7,005,365	100.00%	259,358	(12,483)	(11,545) 註 2	註3
佳龍科技 工程股份 有限公司	-	新北市板橋區新府 路 110 號 19 樓	電腦及資訊軟體業務	3,500	3,500	350,000	23.33%	6,304	8,511	1,986	註3

註1:係按權益法認列投資損失(742)仟元。

註 2: 係按權益法認列投資損失(12,483)仟元及本期認列之股權淨值差異攤銷數 938 仟元。

註3:編製合併財務報表時業已沖銷。

附表二

母子公司間業務關係及重要交易往來情形

單位:新台幣仟元

編號				交易往來情形						
(註一)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係	科目	金額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比			
	民國一○五上半年度									
0	佳龍科技工程股份有限公司	昌蒲實業股份有限公司	1	應付費用	\$4,422	債權債務互抵方式	0.12%			
1	昌蒲實業股份有限公司	佳龍科技工程股份有限公司	2	勞務收入	\$3,111	債權債務互抵方式	0.24%			
	民國一○四年上半年度									
0	佳龍科技工程股份有限公司	昌蒲實業股份有限公司	1	應付費用	\$1,311	債權債務互抵方式	0.03%			
1	昌蒲實業股份有限公司	佳龍科技工程股份有限公司	2	勞務收入	\$5,138	債權債務互抵方式	0.38%			

註一:母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明,編號之填寫方法如下:

- 1.母公司填0
- 2.子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註二:與交易人之關係有以下三種,標示種類即可:

- 1.母公司對子公司。
- 2.子公司對母公司。
- 3.子公司對子公司。

註三:交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算,若屬資產負債科目者,以期末餘額佔合併總資產之方式計算;若屬損益科目者,以期末累積金額佔合併總營收之方式計算。